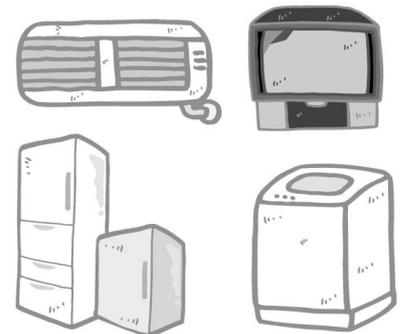


家電リサイクル法の改正を考える

市民フォーラム

現在、見直し審議中の家電リサイクル法は、廃棄物の減量と資源の再生利用を目的に 2001 年に施行されました。毎日排出している容器包装ごみ等とは違い、ふだんは意識されませんが、捨てる時にそのシステムを知って戸惑った人も多いのではないのでしょうか。市民生活に身近な法律なのに、その見直し審議の内容も市民にはほとんど伝わっていません。



そこで、政府担当者、家電メーカー、販売店、学識経験者等、今回の見直し審議の関係者にご参集いただき、それぞれ立場から見解を伺い、市民と意見交換する円卓会議を企画いたしました。

「もっと対象品目を増やすべき」「排出時の費用負担は見直すべき」など、市民の率直な疑問、ご意見をお待ちしております。奮ってご参加ください。

【参加予定】細田衛士さん（慶応義塾大学教授、家電リサイクル法審議会座長）

政府（環境省・経済産業省）、事業者（家電メーカー・販売店）、市民団体ほか（交渉中）

【日時】 2006年12月1日（金）18:30～20:30

【会場】 環境パートナーシップオフィス会議室（東京・青山） ※

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山 B2F

TEL：03-3406-5180 / FAX：03-3406-5064

【資料代】 500円

【申込み】 11月30日（木）までに web 申し込みフォームよりお申し込みください。

http://www.foejapan.org/event/event_form.htm

もしくは以下までご連絡ください。

【共催】 国際環境 NGO FoE Japan、循環型社会システム研究会、東アジア環境情報発信所

【協力】 アジアごみ問題研究会、ごみ・環境ビジョン21、日本消費者連盟

※ 論点整理のため市民の疑問・ご意見を事前に受け付けます。

当日の参加・不参加に関わらず 11月27日（月）までに下記までお寄せください。

